

はじめに 保立道久・成田龍一——2

第1部 歴史の知恵をどう活かすか

座談会（前編） 災害の歴史から何を学び、どう向き合うか

3・11東日本大震災と歴史学の取り組み——10

北原糸子／平川 新／保立道久／成田龍一

ミレニアム津波にどう備えるか 都司嘉宣——36

災害列島と地震考古学の課題 寒川旭——42

天保「チリ地震津波」が問いかけるもの 佐藤大介——48

泥の海——自然の記憶の覚え書きとして 赤坂憲雄——55

災害とメディア「情報は歴史を奪還する」 吉見俊哉——60

災害と史料保存「災害から古文書を守る」 平川新——70

【トピックス】宮城歴史資料保全ネットワークの保全活動 平川新——76

第2部 日本列島と地震

座談会（後編）災害の歴史から何を学び、どう向き合うか

災害列島に生きた人々——82

北原糸子／平川 新／保立道久／成田龍一

【トピックス】『日本三代実録』に残る貞観地震の記述 保立道久——94

古代の地震と噴火「地震は「地の妖」であった」 今津勝紀——122

中世の地震と噴火「繰り返す地震活動期」 矢田俊文——128

貞観地震・津波に学ぶ 柳澤和明——134

地震神の神話「素戔鳴尊・大国主命と祇園御霊会」 保立道久——137

江戸時代の地震「史料が伝える近畿での大地震」 西山昭仁——142

慶長奥州地震津波と千貫松伝承 蝦名裕一——152

富士山噴火、その時江戸では 下重清——156

移り変わる「救恤」のすがた 倉地克直——160

幕末から敗戦までの災害「被災者救助の視点から」 北原糸子——166

関東大震災「帝都」を襲った巨大災害 成田龍一——174

「複合被災」をもたらす現代の大震災 外岡秀俊——180

わたしたち自身が「災害の語り部」にならなければならない 北原糸子——186

あとがき 保立道久——191

【地図】 日本のおもな地震と火山災害（1899年以前）——194

【地図】 日本のおもな地震と火山災害（1900年以降）——196

【年表】 江戸期以前のおもな噴火と地震——198

【年表】 明治以降のおもな噴火と地震——200

参考文献——201

執筆者紹介——204

編集協力 西島博之・盛田真史

校閲 陸井陽三・田中朋子

図版作成 谷口正孝

写真提供 朝日新聞社（クレジットのないもの）

扉図版 安政二年江戸大地震火事場の図（国立国会図書館蔵）